

【2026 年 10 月 10 日（土） 囲碁まつり前日】

★集合：11:00 平塚駅西口（大磯寄り）海岸側の駅前「龍園（2階）」

◎11:05-12:20 ランチョンおしゃべり「木谷道場と囲碁の効用」（龍園） 【60 人限定】2,300 円

吉田正章（数学者・九州大学名誉教授）、石田芳夫九段、小林千寿六段

⇒妙安寺（菩提寺）へ 平塚市平塚 1-12-15 0463-31-3309

◎12:40-17:00「木谷實墓参り・愛用碁盤寄贈式・記念碁会」【60 人限定】

⇒タクシーでやまいち旅館へ 平塚市夕陽ヶ丘 1-19 0463-22-2892

◎18:00-21:00 前夜祭・連碁・大盤解説・囲碁三昧

【10 月 11 日（日） 囲碁まつり当日】

⇒タクシーで、ひらしん平塚文化芸術ホール 2 階・星のプラザへ

◎09:10-10:10「木谷道場の思い出」

石田秀芳九段、小林千寿六段、山口賀由子さん（当時のお手伝いさん）、木谷正道（木谷實三男）

◎10:10-11:00「とろろさんの楽しい囲碁イラスト 100 点展」鑑賞（1 階ギャラリー）

◎11:30-12:30「ふれあいコンサート」 片岡亮太（全盲の和太鼓）、とびっきりレインボーズ（進和学園利用者と職員）、白井崇陽（ヴァイオリン、全盲）、大石亜矢子（ピアノ弾き語り、全盲）、MIKUMI（ダンス、ダウン症）&KAORI（MIKUMI の母）、木谷正道と心の唄バンド、

◎「みんなで踊ろう！ 手話ダンス～平塚GO 囲碁まつり音頭（大石亜矢子 詞・曲・歌）」

振り付け&ダンス指導：UD 手話カフェ&バーの inocci と仲間たち

■12:30-16:00 平塚市の公式プログラム開始（「1000 面打ち」はじめ多彩なプログラム

◎囲碁マンガ・コーナー ◎「囲碁ロボット・センちゃんに挑戦しよう！」 ◎最新囲碁アプリ体験：

◎誰でも入門講座 視覚障がい向け（柿島光晴） 聴覚障がい向け（竹DS、ろう）

◎交流対局 ◎囲碁グッズ等販売「碁石ストラップ」「MIKUMI の手織り」など

◎18:00-「誰でも交流会」UD カフェ&バー（手話カフェ、会場至近）

◎市の公式交流会（囲碁ファンと棋士の交流会） 詳細未定

【10 月 12 日（月・休日） 囲碁まつり翌日】

◎11:00-16:00 木谷道場跡地の囲碁サロン 交流対局・写真撮影【無料、20 名限定】



■宿泊費：一泊二日 2 食付き 12,000 円、
一泊二日 1 食付き 10,500 円

■その他費用：▼龍園昼食費 2,300 円

▼市の 1000 面打ち参加費（未定）

▼当会イベント参加費 2,000 円

▼タクシー代（各車両ごとに支払ってください）

■お申込み：▼当会ホームページ

<https://igonomachi.net>



▼メール kitanimasa4@gmail.com



**囲碁ロボットのセンちゃんが
1000 面打ち参加を希望！ 応援してくださいね**

囲碁のまち平塚で 二泊三日の囲碁三昧

「誰でも囲碁 in 平塚」実行委員会

254-0815 平塚市桃浜町 11-33-107

080-7991-4761

kitanimasa4@gmail.com ⇒



千面打ち囲碁大会(平塚市主催)

東京新聞

2026年(令和8年)7月7日(火)

盲導犬やペットもOK

囲碁旅館

平塚に合宿もできる

平塚市夕陽ヶ丘の「やまいち旅館」が、県内でも少なくなった囲碁合宿の
できる宿になった。障害者らも囲碁を楽しめる活動に取り組み市民団体「誰
でも囲碁 in 平塚」実行委員会代表で、日本棋院平塚支部長の木谷正道さん
(78)からの提案に「たえた」。

(西岡聖雄)

やまいち旅館には盲導犬
やペットも宿泊できる。視
覚障害者の囲碁愛好家が参
加する際は「誰でも囲碁」
が専用の碁盤を用意する。
話さずとも心が通うこと
から、囲碁は「手談」と呼
ばれ、強い棋士同士は盤上
で無言の会話が弾む。視覚
・聴覚障害者のコミュニケ
ーション手段としても注目
されている。

そつした囲碁の利点を踏
まえ、「誰でも囲碁」は昨
年に、JR平塚駅前毎年秋
に開かれる国内最大級の囲
碁イベント「湘南ひろつか
囲碁まつり」と連携したイ
ベントを開催。オンライン
による重度障害者の囲碁対
局や視覚・聴覚障害者向け
入門講座などを行った。

やまいち旅館が囲碁合宿
を受け入れる宿となったこ
とを受け、今年10月のまっ
たりに合わせた合宿を企画し
た。

最大2泊3日で、1泊2
食では1万2千円。先着60
人。囲碁大会のほか、プロ
棋士による大盤解説もあ
る。24世本因坊秀芳(石田
芳夫九段)や小林千寿六段
が来場し交流するという。

この期間の合宿開催は、
プロ棋士と対局するまつり
の名称「1000面打ち」
の参加者を増やす狙いもあ
る。

視覚障害者用の碁盤も



視覚障害者用の碁盤

年のまつりには、現役と引
退した元プロを合わせ、78
人の棋士が参加した。

団体は使われなくなった
碁盤を旅館へ無償貸与し、
まつり期間以外でも合宿を
広めたい考えた。定期的に
箱根町などの旅館で一日中
碁を打つ合宿を行う囲碁愛
好家グループは多いが、囲
碁人口や和室の減少などか
ら、碁を打てる宿は全国的
に減っているという。

木谷さんは「囲碁を知ら
ない人も楽しめるイベン
トも計画している」。

囲碁合宿の予約は木谷さ
ん(電話080(7991)
4761、その他の宿泊の
問い合わせはやまいち旅館
電話0463(22)28
92へ。



囲碁合宿を企画する木谷さん(前列右)らと女
将の小泉さん(前列左)＝いずれも平塚市で

令和8年10月10日(土)～12日(月)又は11日(日)

10日(土)11時から、石田芳夫九段・小林千寿六段が参加

囲碁のまち平塚サイト <https://igonomachi.net/>

